

国内災害救護（令和2年度）

令和2年7月豪雨災害

7月3日から九州地方で降り続いた大雨により、熊本県南部を中心に甚大な被害が発生した。その後も雨は地域を変えて降り続き、7月11日には、岐阜県や長野県でも大雨特別警報が発表された。

熊本県南部へ救護班等を派遣し、避難所の救護所での診療や、孤立集落への訪問診療等を実施し、救援物資を配布した。

医療チームの派遣



救護班
54班 を派遣
※ 日本DMATを含む



災害医療
コーディネートチーム
26チーム を派遣

救援物資の配布



毛布
2,268枚



安眠セット
997セット



緊急セット
1,238セット

【山口県支部から救護班1班派遣】

派遣要員：9人（医師2人、看護師3人、薬剤師1人、主事2人、連絡調整員1人）

派遣期間：7月11日（土）～14日（水）

活動場所：熊本県人吉市・球磨郡

活動内容：救護所での診療および避難所や孤立集落への訪問診療、現場指揮所支援、
モバイルファーマシー（移動薬局）支援

（義援金の受付）

受付期間：令和2年7月7日（火）～令和2年12月28日（月）

※被害状況により按分し、9県の義援金配分委員会へ送金します

（山形県、長野県、岐阜県、島根県、福岡県、熊本県、佐賀県、大分県、鹿児島県）

〈受付状況〉8月23日現在

25億2,873万9,159円（55,666件）

※「義援金」が赤十字の事業に使われることはありません。

防災・減災、健康安全、青少年・ボランティア育成

①いつ起こるかわからない災害に備えています！

- ・救護員の養成、訓練や研修の実施、防災・減災講習の実施
- ・救援物資の備蓄、救護資機材の整備・維持管理等

②県内各地で救急法等の講習を実施しています！

- ・令和元年度実績：383回、14,136人受講

③災害時に活躍できるボランティアを養成しています！

④豊かな心を持つ青少年の育成を促進しています！



これらの事業は、皆さまの協力により成り立っています。

令和2年度も、赤十字活動へのご支援ありがとうございました！

《日本赤十字社の活動報告》

国内災害救護（令和元年度）

8月から10月にかけて発生した大雨や台風による災害に対して、救護班等の医療チームをのべ213班派遣し、救護所や避難所等で巡回診療を実施しました。

令和元年8月豪雨災害

佐賀県を中心に猛烈な雨が降り、大雨特別警報が発表された。

佐賀県杵藤地区を中心に救護班等を派遣し、避難所等で巡回診療を実施し、救援物資を配布した。

令和元年台風15号災害

千葉県を中心に猛烈な雨と風に見舞われ、長期間の停電に見舞われた。

千葉県南部を中心に救護班等を派遣し、避難所等で巡回診療等を実施し、救援物資を配布した。

令和元年台風19号災害

令和元年10月12日（土）から13日（日）にかけて、東日本から東北の13都県に大雨特別警報が発表尾された。

1都8県に対して救護班等を派遣し、避難所等で巡回診療等を実施し、救援物資を配布した。

医療チームの派遣

※3災害の合計



救護班

124班 を派遣
※日本DMATを含む



災害医療

コーディネーターチーム
61チーム を派遣



こころのケア班
28班 を派遣

救援物資の配布

※3災害の合計



毛布

16,938枚



安眠セット

3,252セット



緊急セット

2,780セット

★すべての災害に対して義援金を募集し、被災者を支援

新型コロナウイルス対応

①クルーズ船（ダイヤモンド・プリンセス号）対応

DMATの派遣、救護班の派遣

142人

派遣期間：令和2年2月10日～3月1日

②武漢市からのチャーター便帰国者およびクルーズ船下船者対応

救護要員（医師、看護師等）派遣

113人

派遣期間：令和2年2月7日～3月6日

